

令和7年度習志野市災害医療本部及び応急救護所設置運営訓練 実施報告

1 日時

令和7年11月16日（日）8時30分～12時30分

2 会場

- (1) 災害医療本部：市庁舎 GF 会議室 AB
- (2) 応急救護所：保健会館、習志野市立第一・二・七中学校
- (3) 習志野保健所

3 目的

各応急救護所における設置・運営訓練、災害医療本部と各応急救護所（4か所）間の情報伝達訓練及び災害医療本部と習志野保健所間の EMIS 入力訓練や備蓄医薬品、衛生材料の要請に係る訓練を実施し、各機関・各自の役割や課題の共有を図ることを目的とする。

4 参加機関

習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会、習志野市アマチュア無線非常通信連絡会、習志野保健所

5 参加人数

	災害医療本部 GF 会議室 ABC	応急救護所				習志野 保健所	合計
		保健 会館	第一 中学校	第二 中学校	第七 中学校		
医師会	5	3	3	2	3	—	16
歯科医師会	4	3	3	3	3	—	16
薬剤師会	3	3	3	3	4	—	16
アマチュア無線 非常通信連絡会	2 (うち1名は 全会場巡回)	1	1	1	1	—	6
市職員	9	6	5	5	6	—	31
習志野保健所職員	—	—	—	—	—	2	2
合計	23	16	15	14	17	2	87

※第一中学校会場に津田沼中央総合病院職員が3名参加。

6 実施方法

令和7年度防災訓練計画書のとおり

7 総括

【反省・今後の課題】

今回の訓練では、改めて物品の保管場所や取扱い方について全員で確認をすることができた。また、習志野保健所との訓練ではEMISの代行入力依頼や、実際の様式を用いた医薬品供給要請を行い、実践的な訓練ができた。そして情報伝達訓練では、医師会アマチュア無線クラブが実施している無線訓練の成果もあり、大きなミスや遅れもなくスムーズな訓練を実施できた。

一方で発災時でも通常の電話回線が使用できる場合の情報伝達方法の整理や、無線の活用方法についての課題がある。また、災害医療本部・応急救護所を運営するにあたり会場のレイアウトや役割分担についての課題があがった。バルーンライト等の資機材は会場ごとに配備数が決まっているため、限られた資機材と職員で最大限の医療救護活動ができるよう考えていく必要がある。そして、応急救護所から災害医療本部への要請に対する返答が1時間弱要した応急救護所もあったことから、災害医療本部内の情報収集及び情報伝達の効率化を図る必要がある。各会場でのより効率的な情報伝達ができるよう体制を整えるため、「受ける」・「記録する」・「精査する」・「返す」の情報の流れが滞ることなく行えるよう、記録様式についても具体的な進捗状況等が記載できるものになるよう検討していきたい。